

## 2024 年度(第 6 回)日本口蓋裂学会認定師認定審査について

### － 形成外科分野の手引き －

日本口蓋裂学会では、多職種連携のもと、より良い口唇裂口蓋裂治療を実践していただくべく、また、国民に対して本疾患治療の専門性の理解を深めていただくべく 2019 年度より日本口蓋裂学会認定師制度を導入しております。審査は、書類審査で行いますが、申請者自らの分野での口唇裂・口蓋裂治療の具体的症例に加え、他分野との連携した治療についての代表的な経験症例を重点症例として提出していただき、それら書類について認定師認定委員会において、他分野の委員の陪席のもと公正に審査を進めていきます。

申請者は、手引き内容に従い、経験が十分判断されるように説明と資料添付を行い、漏れや誤りなく、期限厳守で提出をしてください。

2024 年 4 月  
認定師認定委員会  
委員長 飯田征二

#### 1. 形成外科分野での資格要件の追加

日本形成外科学会専門医あるいは機構専門医であることを要します。

履歴書（書式 2）に専門医番号の記載と専門医証のコピーの提出をしてください。

#### 2. 書式 4、5、6 の説明

**書式 4：重点症例記録（Powerpoint；A4（横）プリントアウト）**

**主たる担当症例 3 症例**

・申請者が、執刀あるいは指導助手として治療を担当した代表的症例の手術の治療記録を出してください。

・以下の 8 項目から 2 項目以上を選択してください。

（例えば、口唇裂二次手術 2 例と口唇裂鼻形成術 1 例は可。）

a. 初回口唇裂手術、b. 初回口蓋形成術、c. 口唇裂（口唇のみ）二次手術、

d. 口唇裂鼻形成術（鼻形成術のみを含む）、e. 顎裂骨移植術、f. 口蓋瘻孔閉鎖術

g. 構音改善手術、h. 顎矯正手術

\* 臨床写真や説明での必要ポイント

- ・ 臨床写真、診断画像には撮影日（経過日数）を記載（例：2018（平成30）年8月13日（205日））
- ・ 写真は、術前、術中、術後180日以降の写真を添えること
- ・ 口唇裂に関する手術では、術前、術後写真は正面と下からの仰角写真
- ・ 鼻形成術では、正面、仰角写真に加えて側面からの写真
- ・ 顎矯正手術では、顔貌（正面、側方、要すれば仰角）と咬合の写真
- ・ 口蓋裂手術では、術後の口腔内写真（術後180日以降）を必須とはしませんが、術後の鼻咽腔閉鎖機能を示す記載するか、顎発育がわかる資料を提示してください。
- ・ 肋軟骨、耳介軟骨、腸骨などの移植を伴う場合は、ドナー部の術後6か月以上経過した写真あるいは臨床所見を記載してください。
- ・ 顎矯正手術に関しては、術前、術後180日以降のCephaloX-Pの分析結果の添付
- ・ 骨に関する手術は、手術内容が分かるCT、3DCT、単純X線撮影、パノラマ撮影などの画像初見
- ・ 参考用に、理想的なサンプルを1例提示しています。参照してください。
- ・ 該当症例での他分野との治療連携を必ず付記してください。提出記録の手術と直接の関連がなくても、該当症例の一連の治療経過中での他分野との連携記録を付記してください。（例えば、初回口唇裂手術例での歯科矯正医との連携記録、口唇裂鼻形成術例での音声言語分野での診断や訓練などの連携記録は可。）

書式5：報告症例記録（Excel；A4（縦）プリントアウト）

ミニレポート 5 症例

- ・ 申請者が、指導、執刀、助手として治療に関係した手術症例の治療記録を出してください。
- ・ 以下の8項目から3項目以上を選択してください。
  - a. 初回口唇裂手術、b. 初回口蓋形成術、c. 口唇裂（口唇のみ）二次手術、
  - d. 口唇裂鼻形成術（鼻形成術のみを含む）、e. 顎裂骨移植術、f. 口蓋瘻孔閉鎖術
  - g. 構音改善手術、h. 顎矯正手術

症例ごとに手術内容が理解できる付図1点以上を必ず添えてください。（臨床写真は不可）

記載は明朝フォント12Ptで記載し、A4用紙1枚に症例毎に記載すること。

指導者がいる場合は指導者氏名を記載すること。

- ・ 参考用に理想的なサンプルを1例提示しています。参照してください。

**\*：注意点：提出症例の扱いについて**

- ・ 重点症例内で、同一症例で手術（a～h）が異なれば、別症例として提出を可とします。
- ・ 重点症例と同一症例で手術項目が同一である場合は、報告症例への提出は重複として不可とします。ただし、手術項目が異なれば可とします。
- ・ 2名が同一症例の同一手術の主たる術者である場合は、その症例をそれぞれの術者が同時期、別時期を問わず重点症例あるいは報告症例に提出することを可とします。なお、同一症例の術者数の上限を2名とします。ただし、審査上疑義がある場合は、手術記録の提出などを求めることがあります。

**書式6：業績目録（Word；A4（縦）プリントアウト）**

申請者の下記条件の業績を列記してください。

- ・ 口唇裂・口蓋裂に関する医療系雑誌、学術雑誌の論文あるいは著書など代表的なもの1件（共著者でも可）。
- ・ 口唇裂・口蓋裂に関する学会、研究会などでの代表的な発表2件（共同発表者でも可）。
- ・ 注意事項を守って記入し、氏名の自署、捺印をしてください。

**3. 問い合わせ、送付先**

症例内容などの学術的質問、あるいは申請書類の記入方法、申請方法などの事務的質問は、日本口蓋裂学会事務局に、所属分野とご氏名を申し出て、メールでお問い合わせください。

一般社団法人日本口蓋裂学会事務局  
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12  
新宿ラムダックスビル 9F 株式会社春恒社内  
jcpa-office@shunkosha.com